未来医療研究人材養成拠点形成事業
選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント
[テーマＡ：メディカル・イノベーション推進人材の養成]

整理番号	Ａ－１

申請担当大学名（連携大学名）	群馬大学
事業名	地域オープンイノベーションＲ＆Ｄ人材養成 ～医療開発研究のスタートからゴールまでを一貫する産官学連携教育・研究プログラム～
事業責任者	大学院医学系研究科長　和泉　孝志

事業の概要

医療イノベーションに資する高度専門研究者とともに、不足する R&D マネジメント等の研究支援の専門的人材を養成し、新規医療の創出を加速する。医学系研究科に特別コース「医療開発医科学コース」を新設し、現在設置計画中の医理工連携「群馬大学国際メディカルイノベーションラボラトリー」、「インターフェース人材育成プログラム」との緊密な連携のもとに実効的に機能させる。特別コースでは、企業、PMDA、国立医薬品食品衛生研究所、群馬県などの教育・研究参画によるオープン教育カリキュラムを展開、情報・知財管理、レギュラトリー・サイエンス等を含んだ系統的専門教育を実施し、学位研究をイノベーションラボラトリーとともに臨床研究中核病院である医学部附属病院の協力のもとに広範に展開する。また、女性院生優遇措置、インテンシブコース開講、医学部生臨床前実習講義への関連講義の組み込み等を実施し、人材教育の普及を図る。

推進委員会からの主なコメント　　○：優れた点等、●：改善を要する点等

○臨床から市場化への出口戦略として必要な教育が網羅されており、教育プログラムが充実している。
○理念としての医療イノベーションの推進、知財管理、レギュラトリーサイエンス、トランスレーショナル・リサーチ等の教育プログラムが示されている。
○医学生全員に教育するコースを設定しており、全体の底上げという点で効果が期待できる。
○産学官の連携によるオープン教育システムは、多種多様な価値観を学生に見せるという点で優れている。
○病院、企業との連携が充実している。
●「医療開発医科学コース」の教育内容、人材育成プログラムについて、すでに多くの大学での医学研究の橋渡し研究プロジェクトの中で行われてきた内容であり、国内外でイノベーションを推進できる人材を養成するための教育としては更なる充実が必要。
●女性大学院生を一律に優遇するよりも、男女共同参画の理念に沿ったきめ細かい対応について検討することが望ましい。

留意事項

●「学費負担に関して奨学金による女性大学院生優遇措置を行う」との記載があるが、本補助金で学生に対する学資金の援助のための経費（奨学金等）の支出はできない。